



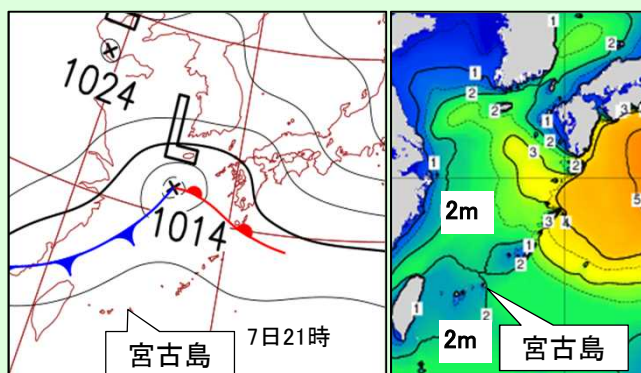
強風と高波に注意しましょう！

～冬から春先にかけて前線や低気圧には要注意～

これから冬に向かうと、テレビや新聞、ラジオなどから「西高東低の気圧配置」という言葉を耳にするとおもうと思います。日本を中心にして西に高気圧、東に低気圧がある気圧配置を西高東低といいます。冬場の代表的な気圧配置です。前線を伴った低気圧の通過や大陸高気圧が張り出すと急に風が強まり、急に波が高くなるなど屋外または海上や沿岸での活動には注意が必要です。

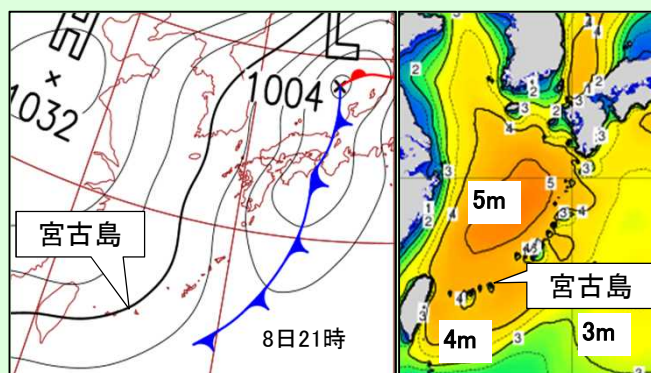
冬から春先にかけては、発達する低気圧や前線がほぼ周期的に沖縄近海を通過します。通過前は風も弱く、波も比較的穏やかですが、通過と同時に北風が急に強まり、波も急に高まります。通過後は大陸高気圧が張り出すため強い北風が2～3日吹き続け、沿岸や近海では、しけや波の高い状態が続くので、海上や沿岸での活動には注意が必要です。

気象台では風や波の急激な高まりが予想される場合には、数日前から気象情報を発表します。テレビやラジオからの情報や気象台から発表される宮古島地方気象情報を利用して、マリンレジャーなどでの海難事故を防ぎましょう。



前線通過前：2018年3月7日21時

(左)地上天気図 (右)沿岸波浪実況図



前線通過後：2018年3月8日21時

(左)地上天気図 (右)沿岸波浪実況図

上図は、2018年3月7日から8日にかけて、宮古島地方を寒冷前線（青色）が通過した様子です。7日は前線通過前で、波高も緑色で示された2mとやや高い程度だったのが、8日の前線通過後にはオレンジ色で表示された波高4m以上でしけの状態となっています。天気図も等圧線が南北に走り、混んで北風の強いことを示しています。前線や低気圧が通過するときは要注意です。

宮古島地方気象台

検索

宮古島地方気象台ホームページ
<https://www.jma-net.go.jp/miyako/>



お問い合わせ先：宮古島地方気象台 TEL:0980-72-3054(平日のみ/8:30～17:15)